

実用技術英語（電子情報工学系） (Practical English for Electronics and Information Engineering)		1 年・後期・2 単位・選択 電子情報工学専攻・担当 桐島 俊之	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1（80％） ， C-2（20％）	〔JABEE 基準〕 （d-2a）,（f）	
〔講義の目的〕 インターネットを駆動力とした経済活動のグローバル化の進展に伴い、英語で書かれた専門書や論文・マニュアル等の読解能力、および、作成能力の重要性が増している。本講義は、実際に英語で論文や技術報告書を読解・作成する際に不可欠となる技術英語の基礎的事項を習得してもらうことを目的としている。			
〔講義の概要〕 本講義では、電子情報工学系の専門書・論文・マニュアル等から抜粋した英文・和文等を利用して、文章の意味を正しく把握・理解し、適切な和訳・英訳を得る方法を習得してもらう。続いて、短いパラグラフを利用した音読と翻訳の練習を行う。その後、英語で論文を記述する際によく使用する基本パターンを理解させ、よりネイティブに理解され得る適切なアブストラクト・論文の書き方を習得してもらう。最後に、インターネットを利用した“technical communication”の実例を紹介し、国際会議・国際学会等への論文の投稿方法等についても理解を深めてもらう。			
〔履修上の留意点〕 実際の“technical communication”では、自らの力で理解し、自らの考えをより適切に表現・伝達しなければならない。そこではあらかじめ用意された解答などなく、躊躇している暇もない。すなわち、自らの経験こそが“最後の砦”である。そうした経験を得るには、教科書に安易に頼るのではなく、自分なりに理解し、作文し、誤りを修正する不断の努力が不可欠である。とにかく書くことであり、自分なりの対処方法を身に付けることである。			
〔到達目標〕 英文専門書や論文・マニュアル等の読解、および、英文論文・技術報告書作成のための基礎能力を習得することを目標とし、演習および期末試験において （１） 文構造的な把握能力 （２） パラグラフ単位での的確な翻訳能力 （３） 英文の効率的な組み立て方 （４） 英文アブストラクト・英文論文の書き方の基礎 以上を習得していることを確認する。			
〔評価方法〕 成績評価は、演習課題（50％）と期末試験（50％）により行う。			
〔教科書〕 「マスターしておきたい技術英語の基本」 出版社：コロナ社、著者：リチャード・カウエル、綿 華			
〔補助教材・参考書〕			
〔関連科目〕			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	シラバスに基づき、到達目標・講義内容等について説明・ガイダンスを行う。	
第2週	文構造の的確な把握 1	英文専門書から抜粋した文章について、文章の構造を正しく把握・理解し、適切な日本語訳を得る。	
第3週	文構造の的確な把握 2	英文論文から抜粋した文章について、文章の構造を正しく把握・理解し、適切な日本語訳を得る。	
第4週	文構造の的確な把握 3	英文マニュアルから抜粋した文章について、文章の構造を正しく把握・理解し、適切な日本語訳を得る。	
第5週	文構造の的確な把握 4	国際会議の案内文から抜粋した文章について、文章の構造を正しく把握・理解し、適切な日本語訳を得る。	
第6週	パラグラフ単位での的確な翻訳 1	国際学会誌から抜粋したパラグラフについて、音読と翻訳を行ってもらい、ディスカッションする。	
第7週	パラグラフ単位での的確な翻訳 2	国際学会論文から抜粋したパラグラフについて、音読と翻訳を行ってもらい、ディスカッションする。	
第8週	英文の効率的な組み立て方 1	和文専門書から抜粋した文章について、文章の構造を正しく把握・理解し、適切な英語訳を得る。	
第9週	英文の効率的な組み立て方 2	和文論文から抜粋した文章について、文章の構造を正しく把握・理解し、適切な英語訳を得る。	
第10週	英文の効率的な組み立て方 3	和文マニュアルから抜粋した文章について、文章の構造を正しく把握・理解し、適切な英語訳を得る。	
第11週	英文アブストラクト・論文の書き方 1	受講者自身が行った卒業研究内容について、英文アブストラクトを作成してもらう。	
第12週	英文アブストラクト・論文の書き方 2	受講者自身が行っている特別研究内容について、英文アブストラクトを作成してもらう。	
第13週	英文アブストラクト・論文の書き方 3	受講者自身が行った卒業研究内容について、英文論文構成を検討・作成してもらう。	
第14週	英文アブストラクト・論文の書き方 4	受講者自身が行っている特別研究内容について、英文論文構成を検討・作成してもらう。	
第15週	インターネットを利用した “technical communication”	国際学会や国際会議への投稿方法・査読・回答文作成の実際について理解を深めてもらう。	
期末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)